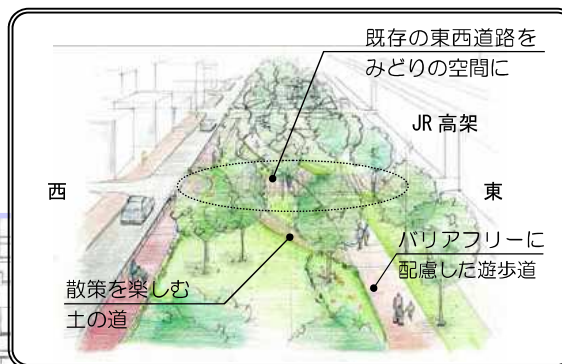


美章園地域の整備イメージ

項目別整備の方向性、整備方針で車道については P.3-8、自転車の通行空間については P.3-11、歩道については P.3-12、みどりの空間については P.3-13、駅周辺の空間については P.3-14 参照。

●留意点等（検討会議における意見）

- ・災害時には、緊急車両が通行できる空間を確保しておく必要がある。
⇒ 緊急車両の通行空間が確保できるよう、樹木や道路・公園施設を配置する。
- ・緑道を横切る東西道路における歩行者の横断について、安全性などどのように考えていくのか検討が必要。
⇒ 今後、緑道の連続性や歩行者の安全性確保の視点で詳細を検討する。



●留意点等（検討会議における意見）

- ・広場利用については、利用する中でルール・作法を考え、決めていくことが必要。
⇒ 今後、地域協働で、より具体的な利用形態を検討するとともにルールづくり等を進める。



●留意点等（検討会議における意見）

- ・環境改善という視点から、雨水が地盤に浸透するような透水性を持つ面積を増やすことは重要。
⇒ 環境にやさしい舗装材を使用するとともに、みどりの空間内については、人工被覆面をできるだけ少なくするように配慮する。

●留意点等（検討会議における意見）

- ・防犯上の課題は地域の人でしかわからない部分もあるため、地域住民の視点に立って防犯上の課題を確認することが必要。
⇒ 地域状況を十分に把握し、施設側で実施可能な防犯対策を図る。
- ・ヒートアイランド対策の視点から樹木配置の検討が必要。
⇒ 大きな緑陰をつくり、気温や路面温度の低減に貢献する樹種の選定や樹木配置を検討する。

*実際の整備内容は、上記整備イメージとは異なる場合があります。